

平成23年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	人口問題プロジェクト研究費	担当部局庁	国立社会保障・人口問題研究所	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成20年度	担当課室	総務課	課長 山元 栄			
会計区分	一般会計	施策名	-				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-	関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	「成人期移行」とは、若者が「おとな」になる過程を意味し、教育達成(学校卒業)、就業、離家(親元からの「巣立ち」)、経済的社会的自立、家族形成(結婚・出産)などを一体的に捉える概念である。欧米でこの研究枠組みに基づく研究が少子化の原因究明と若者対策の面で成果をあげていることから、わが国でもその変化と要因を詳細に解明し、少子化との関係を明らかにすることを目的とする。本研究により、国際比較の視点を含めて、若者政策のあり方や効果を論ずるための基礎資料が提供される。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<ul style="list-style-type: none"> ・成人期移行事象のタイミング(各々の出来事を経験する年齢)の変化の把握(日本・米国・欧州の比較) ・成人期移行の変化のメカニズムと社会経済文化的歴史的背景の分析 ・成人期移行の遷延と少子化の関連についての分析 ・青年層と成人期移行に関する政策のあり方に関する研究(日米欧の比較) 						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予算の状況	当初予算	5	4	2		
		補正予算					
		繰越し等					
		計	5	4	2		
		執行額	4	3	3		
	執行率(%)	80%	75%	150%			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	研究成果を広く社会に提供し、国民の福祉の向上に寄与することを目的としているが、これらを定量的な指標を設定することは困難である。	成果実績	-	-	-	-	-
		達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	研究成果を広く社会に提供し、国民の福祉の向上に寄与することを目的としているが、これらを定量的な指標を設定することは困難である。	活動実績 (当初見込み)	-	-	-	-	() ()
単位当たりコスト	-(円/)		算出根拠				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	計						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的 状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の 流れ、 費目・ 使途	×	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	契約金額が少額のため、見積合わせにより競争性を確保している。
	－	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、 成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	－	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>発注などの契約手続については、入札や見積合わせにより競争性を確保する等により予算執行の効率化を継続しつつ、研究内容の質を維持するために必要な取組を実施する。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
－			
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
－			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

国立社会保障・人口問題研究所
3百万円

報告書印刷、翻訳、委員会出席謝金・旅費

E 事務費
1百万円

〔消耗品費、臨時研究補助職員賃金〕

【随意契約】

A 大和綜合印刷(株)
0.2百万円

〔報告書等印刷〕

【随意契約】

B 丸善(株)
0.6百万円

〔研究資料翻訳〕

C 個人(6人)
0.1百万円

〔委員会出席謝金〕

D 個人
0.04百万円

〔委員会出席旅費〕

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロッ
 クごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	大和綜合印刷(株)	報告書印刷	0.2	随意契約	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額	入札者数	落札率
1	丸善(株)	研究資料翻訳	0.6	随意契約	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

C.

	支出先	業務概要	支出額	入札者数	落札率
1	個人K	委員会出席謝金	0.05		
2	個人M	委員会出席謝金	0.04		
3	個人S-1	委員会出席謝金	0.01		
4	個人S-2	委員会出席謝金	0.01		
5	個人F	委員会出席謝金	0.01		
6	個人R	委員会出席謝金	0.01		
7					
8					
9					
10					

D.

	支出先	業務概要	支出額	入札者数	落札率
1	個人R	委員会出席旅費	0.04		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					